

令和8・9年度 第1回国有林モニターアンケートの結果

林野庁では、国有林について幅広く国民の御意見・御要望をいただき、国有林野の管理経営に役立てるとともに、国有林野事業に対する理解を深めていただくなど、国民との双方向の情報・意見の交換など対話型の取組を行う「国有林モニター制度」を設けています。

四国森林管理局では、令和8～9年度の2年間を任期とするモニターを公募し、四国4県にお住まいの23名に依頼しております。今回は「森林・林業・国有林」について、国有林モニターの皆様にアンケートに御協力いただきましたので、その結果を紹介します。

アンケート結果につきましては、今後の四国森林管理局の取組を進めて行く上での貴重な御意見として参考にさせていただきます。

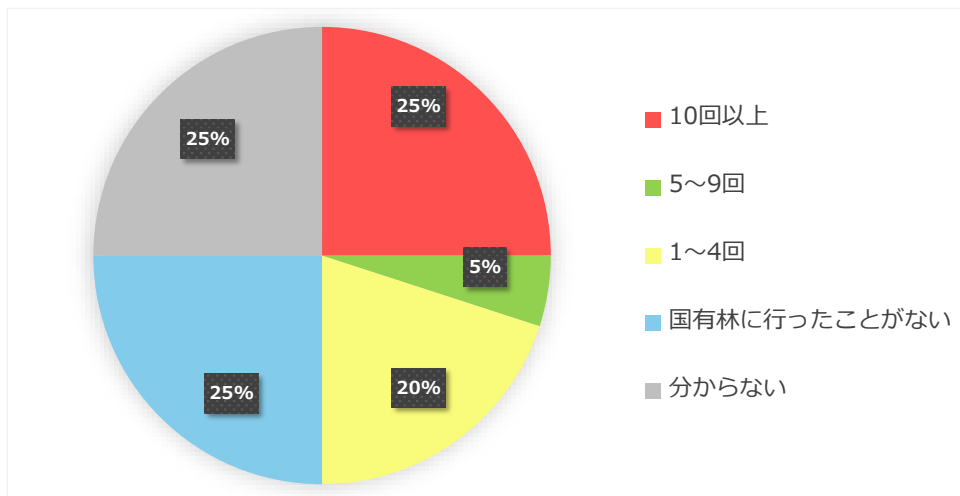
○アンケート実施概要

依頼者数：23名

回答者数：20名（回収率87%）

問1 日本の国土の約7割は森林が占めており、そのうちの約3割（国土の約2割）が国有林です。四国には約19万haの国有林が存在し、これは四国全土の約10%、香川県とほぼ同じ面積に相当します。

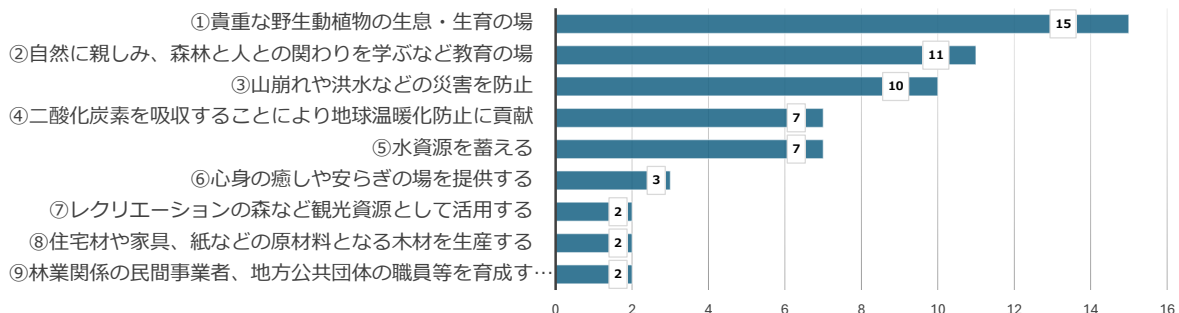
あなたは国有林に、これまでに何回訪れたことがありますか。



問2 四国の国有林は四国森林管理局が、国土の保全、水源の涵養、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの重要な公益的機能の発揮のため、管理・経営を行っています。

あなたは、国有林に対して、特にどのような役割を期待しますか。

（最もあてはまると思う選択肢を3つまで選択し、○を御記入ください）



令和8年9月
四国森林管理局 企画調整課